



2025 年 6 月 17 日

各 位

会社名 note 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 加藤 貞顕
(コード番号: 5243 東証グロース)
問合わせ先 取締役 CFO 鹿島 幸裕
TEL. 050-1751-2329

**note、AI 学習へのデータ提供プログラムを始動
クリエイターの新たな収益機会を創出へ**

note は、クリエイターのみなさんが新たな収益機会を得られるよう、AI 事業者へ学習用コンテンツを提供する取り組みをスタートします。これによって、クリエイターのコンテンツが AI 事業者の学習用データとして利用された際に、その対価として得られた収益をクリエイターのみなさんへ還元することができるようになります。そのため、2025 年 8 月 1 日より note の利用規約を一部修正いたします。

コンテンツを AI 学習に提供するかどうか、対価を受け取るかどうかは、クリエイターのみなさんが選択できます。AI 学習へのデータ提供を希望しない場合は、いつでもマイページから設定の変更が可能です。なお、対象となるのは、note に投稿されたすべてのテキストコンテンツ（無料・有料記事、メンバーシップ特典を含む）です。テキスト以外の画像や音声、動画コンテンツは対象ではありません。

この仕組みは、2025 年 8 月 1 日から適用されます。クリエイターのみなさんの準備期間として、本日 2025 年 6 月 17 日から、ご自身のコンテンツを学習用途として提供するかどうか設定できる期間を設けています。利用規約の変更内容と設定方法は、メールマガジン、note 公式記事、公式 SNS に加えて、note へログインされた方に、ポップアップなどを通じて広くお知らせします。

現在 note 社は、複数の AI 事業者に対して、コンテンツを提供して対価を得るための協議を進めています。そこで得られた収益をクリエイターのみなさんに適切に分配する仕組みをつくり、クリエイターのみなさんに新しい収益の機会をつくることを目指します。

なお、本件取り組みは中長期的に当社の業績向上に資するものと考えていますが、現時点において 2025 年 11 月期の連結業績に与える影響は軽微です。今後、業績に重要な影響を与えることが判明した場合には速やかに開示いたします。

1. なぜこの取り組みを行うのか

生成 AI は私たちの創作活動を大きく後押ししてくれる一方で、学習データの許諾やクリエイターへの対価の仕組みは、まだ十分に整備されていません。また、インターネット上の作品がすでに AI に学習されている現状を完全に防ぐことは難しいという課題もあります。

note はこうした状況を踏まえ、2025 年 2 月から 3 回にわたって AI 学習によってクリエイターに対価が還元される実証実験を実施し、改めてクリエイターに対価を還元する仕組みが重要であると考えました。

実証実験には多くのクリエイターにご参加いただき、「自分の創作活動が正当に評価されていると感じた」

「新しい収益の可能性に期待できる」といった前向きな声が寄せられました。

note はこうした意見を受けて、クリエイターのみなさんが収益を得るための選択肢を提供できると判断し、新しい試みをはじめることになりました。この仕組みはまだまだ完成ではなく、今後も継続的な改善を進めていく予定です。

また、こうしたテクノロジーと創作、そして社会の課題が交錯するテーマについては、クリエイターのみなさん、出版社や放送局、行政機関、そして AI 事業者など、広く関係するみなさんと意見交換を重ねながら、よりよいエコシステムづくりに取り組んでいきます。

2. これまでの取り組み

- ・第一回実証実験（2025 年 2 月 25 日～2025 年 4 月 8 日）：クリエイターの作品単位での還元モデルを試し、対価を算出するための基礎ロジックを構築しました。
- ・第二回実証実験（2025 年 4 月 21 日～2025 年 5 月 9 日）：新たな評価指標を追加し、対価算出ロジックの精度向上をしました。
- ・第三回実証実験（2025 年 5 月 15 日～2025 年 6 月 2 日）：生成 AI の出力内容を分析しながら、還元の仕組みをさらにブラッシュアップしました。

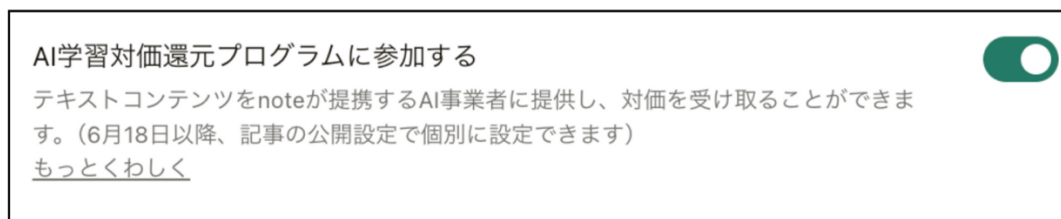
第一回の還元結果はこちらをご覧ください。

<https://note.jp/n/nf35741e37ab3>

3. 対価還元について

AI 事業者から得た対価は、note の運営手数料を差し引いたうえで、クリエイターのみなさんに分配いたします。現在、具体的な分配ロジックを構築中で、確定次第あらためてご案内いたします。また、提携する AI 事業者は、技術の透明性・倫理観・法令遵守などの観点から信頼できるパートナーに限定します。

4. 設定画面のイメージ



- ・初期設定：「参加する（オン）」 となっています
- ・データ提供を希望しない場合： 設定画面で「オフ（参加しない）」に変更してください
- ・記事ごとの設定： アカウント全体とは別に、記事単位での参加・不参加も選択できます（専用の別画面で設定）

5. CEO・加藤貞顕 コメント

生成 AI は創作者にとって非常に便利なツールです。しかし、生成 AI 事業者によるコンテンツ学習については、さまざまな議論がありました。そのなかでとくに重大な課題は、許諾の問題と対価の問題ではないかと思っています。note としては、そこに解決策を見出したいと考えて、学習の拒否移行を示す機能を提供したり、学習のためのコンテンツに報酬を支払う実証実験を続けてきました。

note のミッションは「だれもが創作をはじめて、続けられるようにする」というものです。今回は、AI 時

代のあたらしい創作と報酬のエコシステムをつくることができるのではないかと考え、このような規約改定を行うことにいたしました。この分野は世界的にも前例が少なく、成長や変化も激しい分野です。今後もみなさんのご意見を伺いながら、クリエイターのみなさんがより創作しやすい環境をつくっていただければと考えています。

6. よくあるご質問（抜粋）

Q. 還元額はどの程度になりますか？

現時点では、具体的な還元金額は決まっておりません。過去の実証実験の結果などをもとに、みなさんへ適切に利益を分配できるロジックの設計を進めております。詳細が決まりましたら、改めてご案内いたします。なお、クリエイターのみなさんへの利益分配は、AI 事業者から得た対価から note の運営手数料を差し引いた金額をお返しする形となります。

Q. なぜ初期設定が「参加する」になっているのですか？

今回のプログラムは、クリエイターのみなさんへの還元とその額を最大化することを目的としています。より多くのコンテンツを提供するほど、AI 事業者との交渉力が高まり、一人ひとりへの還元額を増ややすくなります。そのため、初期設定では AI 学習へのデータ提供に「参加する」とさせていただきました。もちろん、AI 学習へのデータ提供を希望しない場合は、いつでもマイページから簡単に設定を「参加しない」に変更することが可能です。

くわしい FAQ はこちら

<https://www.help-note.com/hc/ja/articles/44723422427417>

<note について>

note はクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014 年 4 月にサービスを開始し、約 5,462 万件の作品が誕生。会員数は 938 万人（2025 年 2 月時点）に達しています。

●URL : <https://note.com/>

●iOS アプリ : <https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>

●Android アプリ : <https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

<note 株式会社について>

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォーム note は、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いの記事を发表或し、メンバーシップでファンや仲間からの支援をうけたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note pro を活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-6-2 設立日：2011 年 12 月 8 日 代表取締役 CEO：加藤貞顕
コーポレートサイト：<https://note.jp> IR サイト：<https://ir.note.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

note 株式会社 IR お問い合わせ窓口 <https://ir.note.jp/inquiry>